# e-よこ会の人気シリーズ講座 ソーシャルカレッジ

## 第19回「大阪龍馬会の幹事と巡る 龍馬の足跡」

▲写真／森田稔

4月は今話題の龍馬にちなみ、知られざるe-よこ界隈の龍馬の足跡を巡るまちあるきを開催。案内役は大阪龍馬会の幹事・長谷吉治氏。汗ばむ程の晴天のもと、とにかくビックリするほど多くの龍馬ゆかりの地を本当に精力的に歩き回りました！まだまだ知られざるスポットが多く、石碑も何も無い場所が意外にも重要な場所と言うところもあり、一同講師のお話に耳を傾けつつ幕末ロマンに想いを馳せました。e-よこHPのブログには当日の行程なども掲載されていますので是非併せてご覧下さい。（余りの多さに掲載文字数が足りません！）

▶ソーシャルカレッジ　文／萬代陽子

## 第20回「陶芸体験」～アートに挑戦、マイカップをつくろう♪～

▶陶芸教室『陶塾』
中央区鎗屋町1-3-4鎗屋町ハイツ1F
Tel.06-6941-5766

5月は東横堀川から少し東へ。鎗屋町の陶芸教室『陶塾』さんにて。塾長の山下先生より陶芸のお話を伺うと早速作品づくり。まずは赤土・白土に様々な釉薬をかけて焼いた見本を見つつ自分の思い描くイメージの土と釉薬を決め成形にかかります。最初はぎこちない手元ながら、次第に集中していきます。皆さん何を思って作っていらしたのでしょうか？私は…空っぽ。形のイメージはありましたが手と土の会話で出来上がってゆきました。カレッジ当日は成形までの第一工程を。後日各自で削り工程と釉薬掛けの工程へ赴き完成となりました。忙しく時間に追われる毎日、時にはこんな時間を過ごすのはいかがでしょうか？

## 第21回「生産者が語るおいしいワインの楽しみ方」～オーガニック野菜とともに♪～

▶カタシモワインフード株式会社
柏原市太平寺2-9-14　Tel.072-971-6334

6月はワイン講座第二弾！柏原のワイナリー カタシモワインフード㈱の高井社長をお迎えしてのお話とテイスティング。会場はペスカード北浜店さんでおいしい野菜料理に舌つづみ。大阪では柏原のデラウェアは有名ですが、歴史あるワイナリーの存在を知る人はどれ位いるでしょう。興味津々で集まった皆さんを驚かせ、唸らせたワインの数々。是非あなたも一度ご賞味あれ！
（ブログでは当日のワインリストも掲載しております）

▶ペスカード 北浜店 中央区内淡路町3-3-2　Tel.06-6949-0510
11:30−14:00(L.O)　18:00−24:00(L.O)
土日祝休（水曜のランチは農作業の為お休み）

ソーシャルカレッジの詳細な開催通知、報告はe-よこHPブログで掲載中！
**blog.kaigisho.jp/e-yokobori**　右のアーカイブから是非ご覧下さい【カテゴリ:ソーシャルカレッジ】

# e情報 イベント・行事案内

## ソーシャルカレッジ

内容が変更される場合があります。詳細は、www.e-yokobori.jp をご覧ください。

要予約 e-よこソーシャルカレッジ事務局
e_yoko_socialcollege@yahoo.co.jp

**第22回**
### 粟おこしの歴史
**7月26日(月) 19:00−21:00**
【場所】大阪産業創造館 15F A室
中央区本町 1-4-5
講師｜中村育二郎氏
㈱二ッ井戸 津の清代表取締役
定員｜30名
参加費｜500円

**第23回**
### AEDを使用した救命講習
**8月25日(水) 19:00−21:30**
【場所】中央消防署
中央区内本町 2-1-6
講師｜大阪市消防局救急隊員 様
定員｜20名
参加費｜無料

**第24回**
### 金融よもやま話
**9月8日(水) 19:00−21:00**
【場所】大阪産業創造館 15F クラブ室
中央区本町 1-4-5
講師｜石川芳男氏　㈱みどり会取締役社長
前㈱大正銀行取締役社長
大阪経済大学非常勤講師
定員｜30名
参加費｜500円

シティプラザ大阪
## “第3回 平成落語名人会” 開催!!
### ～今年はこの三名人! ざこば・歌丸・春團治～

本町橋の東側のユニークな外観と天然温泉が自慢のホテル「シティプラザ大阪」。1階カフェ脇にある足湯（無料）は、地元の人たちの憩いの場となっています。この7月で4周年を迎え、恒例の「平成落語名人会 in シティプラザ大阪」が今年も開催されます。出演は、桂ざこば、桂歌丸、桂春團治の三名人に若手落語家も加わります。古典落語、創作落語、どんな演目がでてくるか!? は当日のお楽しみ。豪華な笑いとお食事の楽しい時間が過ごせることまちがいなし!!

**8月21日(土)**
【場所】シティプラザ大阪
中央区本町橋 2-31
時間｜昼席 11:30− 食事会　13:30− 落語会
夜席 17:00− 落語会　19:30− 食事会
料金｜昼席　S席 13,500円　A席 12,000円
（宴会場で特製弁当、S・A席と内容が異なります）
夜席　S席　完売御礼　A席 12,000円
（S席は和会席・A席は宴会場で特製弁当）
申込｜シティプラザ大阪
Tel.06-6947-7830

▶文／鈴木美和子

# e-よこ会とは？

「まちなかに生きる東横堀川」を目指し、季節ごとに水辺を楽しむイベントの開催、毎月のお掃除、橋へのフラワーポット設置など、川を生かしたまちづくりに積極的に取り組んでいます。
一緒にe-よこ界隈を楽しみましょう！

事務局｜大阪商工会議所地域振興部

**www.e-yokobori.jp**


発行｜e-よこ会(東横堀川水辺再生協議会)
編集｜e-よこ会新聞部（杉本容子　鈴木美和子　萬代陽子　廣井真由美　西村由樹子　森井道雄　森田稔）
デザイン｜有限会社オルタ・デザインアソシエイツ
印刷｜株式会社光陽社
問合せ先｜Tel.06-6944-6323　発行日｜2010年7月
助成｜(財)河川環境管理財団　河川整備基金


**プレゼント**

e-よこ会メンバーが、東横堀水辺新聞読者にお届けするステキなプレゼント。今回は…

## e-よこ風呂敷を抽選で5名様にプレゼント！

ハガキに、住所・氏名・電話番号・メールアドレスと「e-よこ風呂敷プレゼント希望」と明記の上、下記までご応募ください。

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8
大阪商工会議所 地域振興部内　e-よこ会事務局宛

## e-よこ新聞を配布、掲示していただける方募集中！

下記までお問い合わせください
〒541-0048　大阪市中央区瓦町1-1-6
有限会社オルタ・デザインアソシエイツ
Tel.06-6204-0090

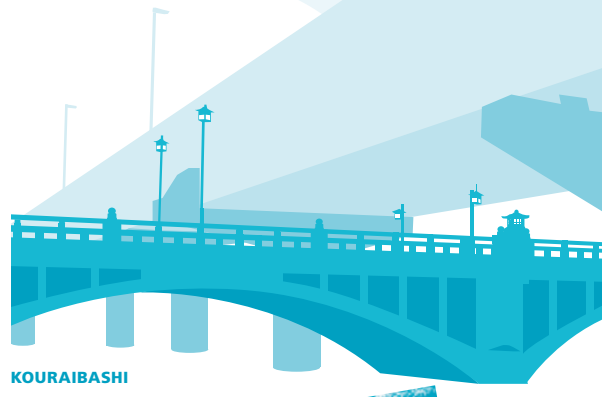

e-よこ会がお届けするまちの魅力
Higashiyokobori Mizube Times


# 東横堀水辺新聞


vol.5　2010年7月号



特集記事…… e-よこアニバーサリー／天神祭
今回のエリア…… 高麗橋
e-人…… 渋谷利兵衛商店　渋谷善雄さん
e-会社…… 進栄化学㈱／NPO法人日本アトピー協会 JAグループ大阪
e-店…… たこ姫／ペギー・スー LORO CYCLE WORKS

KOURAIBASHI

## e-よこ会4才の誕生日！

# e-よこアニバーサリーナイト

### ～真夏の水辺を楽しもう！～

2006年7月24日に産声を上げたe-よこ会も、おかげさまで4周年を迎えます。e-よこ会メンバーの方はもちろん、水辺に関心のある方や、界隈でお仕事をされている方など、みんなで水辺を楽しみましょう♪

**7月24日(土) 17:00−21:00**
**大手橋 南側の公園**　大阪市中央区瓦町1-1-6
※事前申込不要・参加費無料（飲み物や食べ物を1品お持ち寄りください）

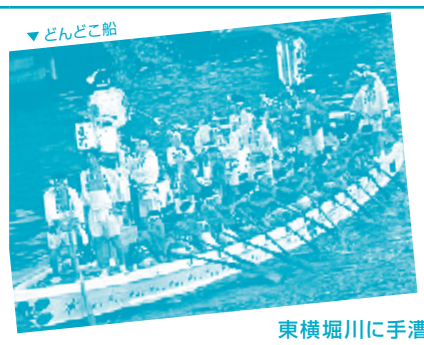
◀川沿いの公園を楽しむ

▲どんどこ船との手打ち挨拶

開催場所

### ～東横堀川に「どんどこ船」がやって来る！～

18時頃から、天神祭の「どんどこ船」や「人形船」が東横堀川を通ります。船に向かって「大阪締め」で手打ち挨拶をしましょう！



▼どんどこ船

# 「どんどこ船」ってなぁに？

天神祭の「宵宮」の24日、東横堀川に手漕ぎ船がやってくるのをご存知ですか？神様を祀った船を真っ先に迎えに行くのがこの「どんどこ船」です。どんどこ船講を支える講元の夏凪一嘉氏をお訪ねしました。アルミのボディは重さ約2トン。総勢40名の猛者が呼吸を合わせ、船の隊列の間をぬうように自由に漕ぐ様は勇ましく熱い！昔は当然木製で、前方を突き上げた伝馬船の形をしていました。当時は橋もゆるくアーチを描いていますからさながら浮世絵の世界だったでしょうね。歴史上には約100年前にその名が登場します。離れた氏地である木津川河口両岸の町から船で見物に出たのが始まりで、やがて神事の牽引役となり、太鼓や鉦を打ち鳴らして祭の訪れを沿道の人々に知らせます。最も華やかだった大正期は7艘あったこの船も、戦渦に一時は途絶えてしまいます。これを復活させたのが夏凪さんの父上で、夏凪さん自身十歳の頃より船を漕いでいます。夕暮れ時、お祭ムードを盛り上げた船は大川を後にし、東横堀川にやってきます。アニバーサリーナイトの会場で「大阪締め」で手打ち挨拶をしましょう。やり方は簡単！手をパーにして両手を元気よく上げたら始まりの合図。お馴染の「うぃちましょーぉ♪」の声がかかる訳です。実はこれには手の内を見せ物騒な物は持ってませんという意味も含んでいます。熱く荒っぽい男達ならではですね。船は1艘だけではありません。子供達子若が乗る船や人形船等もやってきます。

今迄船に乗る機会の無かった少年達も練習で調和を学び、暑さにもめげず健気に大人の船を追いかけます。こちらもぜひ見つけてくださいね！24日の18時頃に東横堀川にやってきます。手漕ぎ船ゆえどんどこ船との手打ちの機会は僅か・・・この瞬間をお見逃しなく！

▶文／西村由樹子　写真／森田稔

# 7月24日(土) 25日(日) 天神祭

▲厳かな鉾流神事

日本三大祭のひとつ「天神祭」が今年も盛大に行われます。7月24日（土）の「鉾流神事（ほこながししんじ）」に始まり、7月25日（日）の「船渡御（ふなとぎょ）」では、約100隻の船団が大川に繰り出し、5,000発の花火が祭のクライマックスを盛り上げます。水の都・大阪を代表する伝統行事「天神祭」にぜひ足をお運びください！

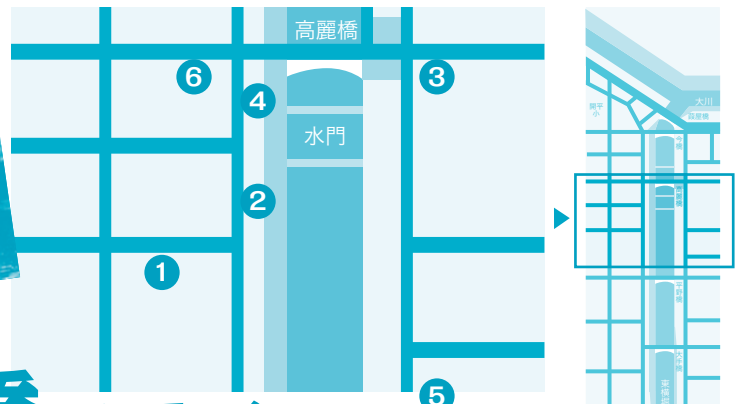
▲祭のクライマックスを飾る船渡御の船団

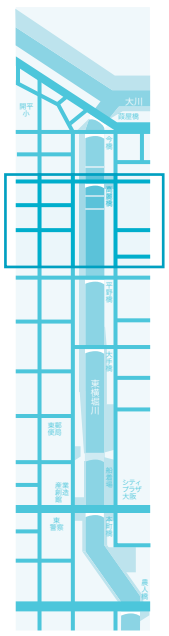
**主なスケジュール**

**『宵宮（よいみや）』7月24日(土)**
8:50−
【鉾流神事】
堂島川の船上から神童が鉾を流し、祭の無事と安全を祈願します。

**『本宮（ほんみや）』7月25日(日)**
19:30−21:00
【奉納花火】
毛馬桜之宮公園（大阪市北区天満1丁目）と桜之宮公園グラウンド（大阪市都島区中野1丁目）で、計5,000発の花火が打ち上げられます。

▼水門ができる前の高麗橋



こうらいばし
# 高麗橋エリア

## 今回のエリア担当リーダーは渋谷善雄さん

## 明治時代、“鉄橋”として有名であった「高麗橋」

高麗橋は江戸時代、江戸の日本橋、京の三条大橋と並び「天下の三名橋」と呼ばれました。また京橋や天満橋と同じく、大阪に12橋しかない御公儀橋（幕府の費用で維持する橋）の1つで、大坂城と船場を結ぶ重要な位置に立地し、東海道57次の終点としても有名でした。（京都までが東海道53次、京都から西へ、伏見、淀、枚方、守口の宿場町）橋の東西には、三井越後屋（後の三越）など有名呉服店や両替屋、紙屋などが並ぶ賑やかな街でした。明治3（1870）年、高麗橋は「木の橋」から日本で3番目の「鉄橋」として架け替えられ60年間にわたり市民に親しまれてきました。昭和4(1929)年には現在の石の橋に架け替えられ、欄干には、江戸時代に橋の西詰にあった櫓屋敷をモチーフにした飾灯がとりつけられ、美しい姿を今も見ることができます。橋の中央部分の「高麗橋」の銘板は、渋谷さんの筆によるもの。（因みに「本町橋」は、前回登場の大橋さんによるものです）開平小学校の同窓会が出版した地元郷土史「わが町船場」によれば「高麗橋」の名は、古代朝鮮からの使節を迎える大使館兼迎賓館「高麗館」が橋の側に建てられていたことからついたという説と、豊臣秀吉が東横堀を掘り、橋を架けた時に高麗との貿易がこの地で盛んだったという説がありますが、真相は定かではありません。渋谷利兵衛商店には、往時の姿そのままの「鉄橋」を描いた掛け軸や、明治時代の大阪市章をかたどった鉄橋の街灯の一部があります（写真）。先代社長が幼い頃（大正時代）には、東横堀川は泳げるほど水がきれいだったというから驚き。「江戸時代に多大な勢力を誇った越後屋が、東海道57次の西の起点・大阪高麗橋界隈と東の起点・東京日本橋に店を構えたほど重要な場所だった高麗橋。今では高麗橋の三越百貨店は超高層マンションに建て替わったが、もっと有名になっても良い橋です」代々高麗橋を見守ってこられた渋谷さんが思いを語ってくださいました。

▼鉄橋の街灯の一部（明治時代の大阪の市章）

▲約45年前の高麗橋

▶文／鈴木美和子

## 高麗橋のラヂオ局

▲約20～25年前の三越

現在大手前にあるNHK大阪放送局は、社団法人大阪放送局として1925年(大正14年)に設立されました。今でこそ馬場町や大手前のイメージのNHK大阪放送局ですが、設立当初の試験放送や仮放送は高麗橋の三越呉服店屋上から行われていました。かつてのメインストリートである堺筋に面した高麗橋・三越は当時の文化の最先端、日本のラヂオの歴史の記念すべき一頁を飾ったと言えるのです。ラヂオ局はその後上本町に移転し本放送を開始、馬場町～大手前の大阪放送会館より現在も放送が続けられています。放送局のコールサインである「JOBK」は「ジャパン・オーサカ・バンバチョー・カド」の略称だという話がNHK大阪放送局60周年記念番組でも取り上げられ話題となりました。冗談か本当か？？とても楽しいこぼれ話ですね。▶文／森井道雄

## 幻の高麗橋駅

1910年（明治43年）に京阪電車が京都～大阪間に開通して、今年でちょうど100年が経ちます。実は当初の計画では、京都：五条大橋～大阪：高麗橋間を通る予定だったそうです。東海道57次の起点として知られ、交通の要所であった高麗橋の地こそが、ターミナル駅の地にふさわしいという思いが当時の人々にあったからかもしれません。

ところが、その計画は結果的には採択されず、高麗橋のひとつ手前の天満橋にターミナルが造られました。

もしも京阪電車の開通時のターミナル駅が天満橋ではなく高麗橋だったら、e-よこ界隈はどのような発展を遂げていたか……。

幻の高麗橋駅への想いは尽きることがありません。

▶文／森井道雄

まちのあの人 e-人

高麗橋西詰の渋谷利兵衛商店は創業286年(享保9年：1724年)の老舗婚礼儀式品店。店内には見事な水引飾りが並べられ、大阪で最も古かった高麗橋鉄橋の一部や絵図など、秘蔵のお宝の特別展示もされています。現在の知識豊富な9代目当主が、お店やまちの歴史を語りながら指導する、水引小物体験ができる「まち歩きコース」は、いつも満員御礼の人気コースです。初代は奈良・大宇陀あたりから大阪に出てきて、4代目から鰹節を売りはじめたそうです。明治に入り、まだまだ庶民の間で一般的でない結納品を初めて販売。現在の当主のお祖父さんにあたる7代目は、神社仏閣に参って仏前結婚や神前結婚を挙げるのが当たり前の昭和初期に、西洋ホテルの先駆け「大阪ホテル」と、御霊神社の神主さんと一緒に、ホテル初の「神前結婚式」を企画されたとのこと。また専門大店(元・中之島フェスティバルホールの地)に隣接する慶明荘の大広間で結婚式を挙げたり、花嫁学校をはじめたり、今でいうウエディング総合プロデューサーです。今でこそホテルウエディングも当たり前ですが、当時は大変画期的なことだったでしょう。昭和のはじめ、高麗橋の店の隣には結婚式場もあったそうです。戦災で写真が焼けてしまい記録がないのが残念。改めて船場商人の時代の先見性としたたかさを感じます。今も渋谷利兵衛商店の「花鰹」は知る人ぞ知る定番商品として親しまれています。また熨斗袋を買うと、達筆な渋谷さんが名前を書いてくれるので、地元の企業や近所の人たちが引きも切らず訪れています。

▶文／鈴木美和子　写真／森田稔

渋谷利兵衛商店 map 6

**渋谷善雄** さん

# e会社

## 進栄化学株式会社 map 1　NPO法人日本アトピー協会 map 2

**全国に450万人いるといわれるアトピー性皮膚炎患者、アレルギー諸疾患患者も加えるとそれ以上の人が悩みを抱えている。江戸時代から薬種商や問屋が並ぶ道修町から文明病・現代病と闘う2つの企業、団体の方にご登場願った。**▶文／鈴木美和子　写真／森田稔

### 手間隙かけ独自の無触媒製法で、肌に優しい、安心・安全な化粧品原料を供給する

進栄化学株式会社 代表取締役社長 **能島玲子**さん

道修町といえば、昔から医家向けの製薬会社や漢方薬、医療・医薬品問屋の街として全国的に有名です。病気になってから治すための医薬品とは、一線を画す商品やサービスを展開しているのが進栄化学株式会社。3代目社長の能島玲子さんにお話しを伺いました。創業は、戦後の日本経済が復興しだした昭和34年。和装から洋装へ、モダンなメークが若い女性達の間で大流行すると同時に化粧品によるアレルギー患者の急増と、化粧品会社はその対応に追われていた時期でした。父親で薬剤師でもある創業者は、アレルギーを起こさない肌に優しい化粧品原料の研究開発を行い、無触媒製法による植物性エステルの製品開発「MOD」に成功。今でこそ一般的な植物由来成分の原料は、当時としては画期的なもの。その製造特許は大手化粧品メーカーや製薬会社のみならず皮膚科医からも「肌にやさしい、安心・安全な製品」として厚い信頼が寄せられています。15年前に2代目社長（実兄）の後を継いで社長に就任した能島さん。今後の抱負は？

「得意な英語を活かして、今後は海外との取引にも力を入れて行きたい」とのこと。

安心安全な製品へのこだわりこそが、肌に優しい日本の化粧品を支えてきたのですね。

### アトピー患者さんが本当に安心して使用できる商品を探し求めて

NPO法人日本アトピー協会 理事長 **後藤田育宏**さん

きっかけは15年前阪神淡路大震災の時、罹災したアレルギーの赤ちゃんを持つお母さんにアレルギー用粉ミルクを届けたのが始まりです。その後も新潟地震などの罹災患者さんの救済活動やチャリティーコンサート、アトピー関連製品を集めた展示会等を行っています。2007年、NPO法人格を取得。患者さんと医師を結ぶ相談窓口業務と、情報紙「あとぴいなう」の発行や、企業と共同でアトピー患者向けの製品開発を行うなど多岐に亘る活動を展開しています。昨年12月の「事業仕分け」で漢方薬及び一部ステロイド薬、ビタミン薬が保険適応外と判定された時には、アトピー性皮膚炎をはじめアレルギー諸疾患患者を無視したものと抗議の声を民主党大阪府連に提出しました。

理事長の後藤田さん、現状の課題と今後の抱負は？

「アトピー患者さんは、入園差別や就職差別など治療以外にも多くの問題を抱えています。数年前から食育の取り組みや見直しが進んできましたが、養殖や輸入食料品への薬物投与等アレルギー原因は深刻になる一方です。今後は学校や地域との連携を図りながら情報提供を行うことで患者さんのサポートが出来ればと思っています」

## JAグループ大阪

中央区高麗橋3-3-7

今年の春に馬場町より現在のJA大阪センタービルに移転。金融機能を担当するJAバンク大阪信連、農産物流通の経済事業などを担当するJA全農大阪府本部、府内JAの経営指導などを担当するJA大阪中央会等の各事業所が入居しています。毎月1回「JA夕市」が、同ビル前で開催されます。夕方から地元大阪産の農産物を即売しており、泉州水なす・大阪なす・泉州たまねぎ・大阪えだまめ・東大阪エコトマト・・・などが並べられるそばから、飛ぶように売れていく盛況ぶり。古来より「身土不二」という言い伝えが有ります。本来は仏教用語ですが、地域で取れた物を食すれば、健康増進に資するという教えです。昨今では「地産地消」と呼ばれることも多いそう。難しい言葉の意味はともかくとして、目的とするところは同一でしょう。消費者も単に価格だけにとらわれず、安心の出来る地元産の食材に目を向け、さらに消費する行動に繋げていけば、生産者の方々にも励みになるのではないでしょうか。食の安心･安全に対する関心が高まっている昨今、JA夕市のような取り組みが、消費者の方々の地域農作物への関心を高めるきっかけになれば嬉しいです。今後も継続的なイベントとして地域に定着することを願って已みません。▶文・写真／森田稔

# e店 まちのこの店

## たこ姫　Tel.06-6945-5181

高麗橋のすぐ側。飲み屋が並ぶなか手軽に小腹を満たしたい時うってつけ！お好み焼、焼そばは大阪らしく白ご飯と汁がつくランチがあったりそばとたこ焼やお好みとたこ焼のお得セットも1コインでお釣りが。カウンターで缶ビール片手に軽く夕飯をするサラリーマンも見かけるがたこ焼は6個230円からと手軽で残業食にするのが主流のよう。開店して7年、気さくなおっちゃんとお母さんが迎えてくれます☆▶文／西村由樹子

11：00−22：00　土−19：00　日祝休

中央区東高麗橋2-28　コジマビル 102　map 3

## ペギー・スー　Tel.06-6231-5950

建物の1階「ペギー・スー」と2階「田八（でんぱち）」は、一見別々のお店に見えますが、実際は同一経営。コンセプトは、1階が麺と点心を中心とした中華居酒屋で、2階はおでんを中心とした居酒屋。双方の料理がどちらからでも注文可能。人気のメニューは「カレーラーメン」とのこと。店の歴史は古く、25年前に駒川中野で開店し、高麗橋店は8年前に開店。ちなみに店名はアメリカのロック歌手バディ・ホリーの代表曲「ペギー・スー」からとったとのこと。地下は、ライブも可能な貸切スペースとなっています。気の置けない仲間との会合にぴったりのスペースです。ショップリストに加えてみてはいかが。

▶文／森井道雄

11：00−14：30　17：00−22：30　土昼のみ　日祝休

中央区高麗橋 1-2-3　map 4

## LORO CYCLE WORKS

Tel.06-4793-1707

国内初の折りたたみ自転車専門店として、11年前に天王寺区で開業し、6年前に現在のビルに移転。店内には、折りたたみ自転車・小口径自転車が100種類・150台整然と展示されています。丁度取材にお伺いしたのが、土曜日の午後ということも重なったのか、店内には何組ものお客様が品定めをされていました。接客の合間に、岩佐店長にお話を伺いました。創業時は、店舗が狭かったため、折りたたみ自転車に注力したとか。一度お買い上げのお客様からの口コミや、インターネットをご覧になって来店されるケースが多いとか。取り扱いメーカーは、ドイツやイギリス製の上級クラスが中心で国産はブリヂストン・パナソニックなど、最低でも10年以上はお使いいただける自転車を、吟味して揃えているとか。お店のスタンスとしては、一度お買い上げいただければアフターサービスも抜かりない。実際、取材の合間にも乗用車のトランクに積み込んで、来店されるシーンも見かけられた。自転車フアンには見逃せないお店だ。

▶文・写真／森田稔

10：00−19：30　無休　中央区東高麗橋 4-7　map 5